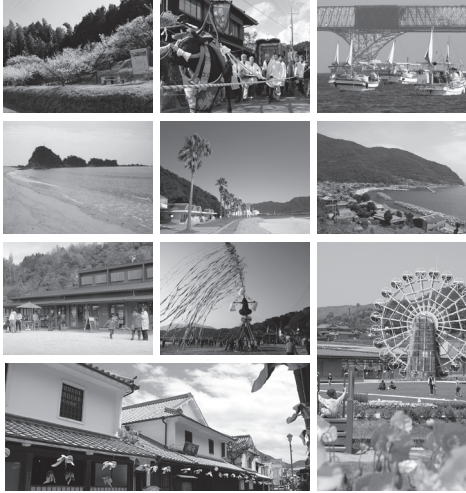




第2次 柳井市総合計画

—概要版—

はじめに

本市は、平成17年2月の柳井市と大島町の合併により誕生し、平成19年3月には新たなまちづくりの指針となる第1次柳井市総合計画を策定しました。それから今日まで、市民の皆様の知恵と工夫、参加をいただきながら、教育、医療・福祉、雇用、防災などの生活基盤等の維持・充実に努めてまいりました。

策定から10年が経過した今日、平成19年当時と比較して、本市の人口は、約36,000人から約33,000人に減少し、少子化・高齢化も進んでいます。加えて、大規模自然災害への備えや地域経済の維持など、多くの課題が山積し、解決すべき課題は多様化・複雑化しています。こうした中、基礎自治体の果たすべき最も重要な役割は、こうした困難な時代を乗り越え、将来にわたって持続可能な地域社会を築いていくことであると考えています。

現在、本市では、人口減少から生じる諸課題を克服すべく、子育て環境の充実、企業誘致や地域産業の振興による雇用の創出等に努めるとともに、市が有する豊かな自然と便利な居住環境、自然災害の少なさを、全国に向けて情報発信し、移住の増加を図る新たな取組も進めています。今後も、積極的にチャレンジするとともに、市民の安全・安心な暮らしを維持するための施策を展開し、適切な市民サービスを提供することを、行政の不変の使命としながらも、全国的な人口減少社会においては、市民の皆様お一人おひとりが地域の課題を自分のこととして捉え、自らがそれぞれの地域で「わたしも一役」の思いで活躍していただくことが、真の意味で「底力と魅力のあるまち」の実現につながるものと確信しています。

この度の第2次総合計画における将来都市像は、「市民の力で支えあい、一人ひとりが主役の笑顔あふれるまち柳井～柳井で暮らす幸せを実感できるまちをめざして～」としています。地域における「参加」は、人と人とを新たに結び、人のつながりを更に強固にするものです。まずはそれぞれの地域から、そして市全体で、参加による市民と市民、市民と行政の協働のまちづくりを進め、そのことによって、多くの方々に「柳井で暮らす幸せ」を実現・実感していただくために、市民の力を核に据えた本計画を着実に推進してまいります。引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

平成29年3月

柳井市長

井原健太郎

まちづくりの理念とめざす将来都市像

本市は、白壁の町並みや茶臼山古墳、大島瀬戸の渦潮、多島美を誇る瀬戸内海、緑豊かな里山などに象徴される美しい景観や豊かな自然環境に恵まれています。気候は、温暖多日照で比較的雨が少なく、過ごしやすい瀬戸内海型気候区に属しています。古くから水陸交通の要衝として知られ、江戸時代には、瀬戸内屈指の商都として繁華を誇り、営々と受け継がれてきた各地の伝統行事など、多くの有形無形の歴史的・文化的資産を有しています。また、明治維新の先覚者の一人である僧月性をはじめ、それぞれの時代・分野において傑出した才能を開花させた多くの人材が輩出するなど、様々な魅力と個性のあるまちです。

私たちは、これらの魅力や先人たちが築き上げてきた伝統と文化を受け継いで、次代に継承する責務を負っています。また、国を挙げた地方創生への取組が進む中、市民と行政が協働し、厳しい財政状況を克服して、自主自立のまちづくりを進めていかなければなりません。これからも、これらの貴重な財産を守り育てると同時に、誰もがいきいきと安心・安全に暮らせるまちであり、市民一人ひとりが個人として尊重され市民の力が最大限に発揮される自治体経営を確立するために、本市の将来都市像を次のように定め、3つのまちづくりの理念のもとその実現をめざします。

将来都市像

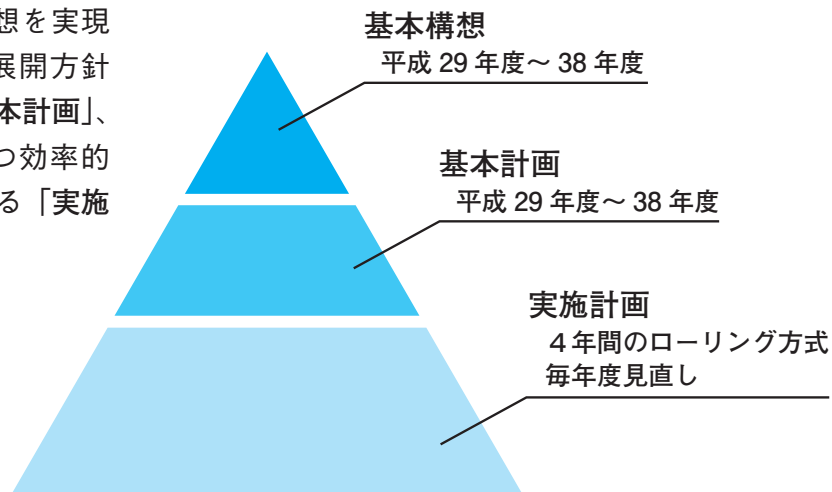
「市民の力で支えあい、一人ひとりが主役の笑顔あふれるまち柳井
～柳井で暮らす幸せを実感できるまちをめざして～」

まちづくりの理念

- 自分たちの暮らす柳井に愛着を持てるまちづくり
- 地域の支えあいと協働で進める市民主体のまちづくり
- みんなが安心・安全に暮らせる持続可能なまちづくり

総合計画の位置づけ

総合計画は、本市の将来都市像と基本目標を定め、これらを実現するために必要な基本施策を示した「基本構想」、基本構想を実現するため、基本施策ごとに今後の展開方針や主な取組などを明らかにした「基本計画」、基本計画に基づき事業を計画的かつ効率的に実施するための具体的な計画である「実施計画」の3つで構成されます。



第2次柳井市総合計画の体系

～まちづくりのための6つの基本目標と36の基本施策～

市民の力を最大限に生かした「協働」を核とする「市民参加」のまちづくりを進めることにより、新しい「これからの自治体経営」を確立し、「人権・子育て・教育」「健康・福祉」「安全・都市基盤」「環境」「観光・産業・文化」の各分野に掲げる基本目標の実現を図ります。そして分野ごとに、合計36の基本施策を掲げ、それぞれを横断的に連携させながら、効果的かつ効率的に施策を推進します。

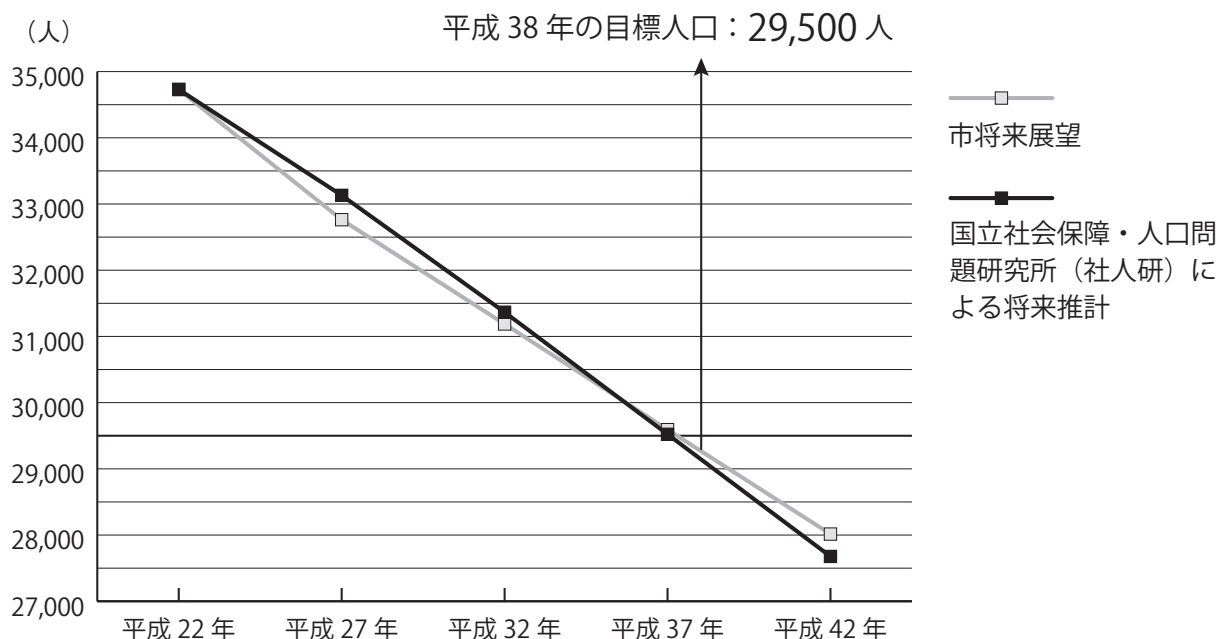
1 これからの自治体経営 「市民の力」で支えあう 「市民参加」のまちづくり	1 市民の力	市民の力を生かし、持続可能な市民主体のまちづくりを推進します
	2 市民参画	市民参画による行政との協働の仕組みを取り入れた自治体経営を進めます
	3 情報化	情報通信技術 (ICT) の活用を図り、電子自治体システムを構築します
	4 交流・連携・定住	都市間交流や広域連携を進め、地域活力の維持向上につなげます
	5 行財政運営	質の高い行政運営と健全な財政運営により、最適な公共サービスを提供します
	6 危機管理	あらゆる危機に迅速かつ的確に対応できる体制の充実・強化を図ります
2 人権・子育て・教育 子どもたちが心豊かに成長し、すべての市民が尊重されるまちづくり	1 人権・男女共同参画	一人ひとりの人権が尊重され、男女が共に輝く社会をめざします
	2 児童福祉	未来を担う子ども一人ひとりが健やかに生まれ育つ環境づくりに取り組みます
	3 青少年育成	次代を担う青少年の健全な心身の育成を地域全体で支えます
	4 学校教育・高等教育	「愛、夢、志をはぐくむ教育」を推進し、しなやかでたくましい子どもたちを育成します
	5 生涯学習	生涯を通じて、いつでも、どこでも、だれでも自由に学べる環境を整えます
	6 スポーツ・レクリエーション	スポーツやレクリエーションを通じて、人と地域が元気なまちをつくります
3 健康・福祉 すべての市民が健康で安心して暮らせる、人にやさしいまちづくり	1 地域福祉	お互いに認めあい、支えあう、地域福祉コミュニティを形成します
	2 健康・保健	市民の健康意識の向上と健康づくりを進めるとともに、保健対策の充実を図ります
	3 医療	保健・福祉分野との連携を図り、充実した医療サービスの提供に努めます
	4 高齢者福祉	いくつになってもいきいきと、安心して暮らせる社会をめざします
	5 障がい者福祉	障がいへの理解を深める取組を進め、共に暮らせる社会を形成します
	6 社会保障	必要な生活支援と医療などが受けられる社会保障制度を維持運営します
4 安全・都市基盤 災害に強く、安全・安心・快適で便利なまちづくり	1 防災・消防	市民の力を合わせ、防災・減災を進めるとともに消防力を強化します
	2 防犯・交通安全	まちぐるみ、市民ぐるみでの安全・安心の地域社会の構築をめざします
	3 土地利用・都市構造	住・職・学・遊・医などの生活機能がコンパクトに配置された都市を形成します
	4 住宅・住環境	すべての人が住み良さを実感できる居住環境をつくります
	5 道路・交通	快適で便利な道路空間づくり、交通ネットワークづくりを推進します
	6 上下水道	健康で快適な都市生活を支える施設整備と維持運営に努めます

5 環境 美しい景観・自然と調和し、環境にやさしいまちづくり	1 景観	心地よいと感じる景観を地域の財産として共有し、守り育てていきます
	2 緑化・公園	協働による緑化と花いっぱい、公園緑地の質的充実を図ります
	3 環境保全	環境への関心を高め、環境保全活動を推進します
	4 循環型社会	市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量・資源化に取り組みます
	5 環境美化・環境衛生	環境美化に努め、清潔で快適な生活環境を創造します
6 観光・産業・文化 文化の香り高く、地域の活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり	1 観光	多様な地域資源の掘り起こしや連携を図り、観光振興による賑わいづくりを進めます
	2 商業・サービス業・工業	商工分野やサービス業における魅力ある事業者の取組を支援します
	3 農業・林業・水産業	若者や女性が就業する美しく活力ある農山漁村の実現をめざします
	4 企業誘致・創業支援	企業の誘致活動を強化し、働く場の創出に努めます
	5 雇用・勤労者福祉	雇用の確保と労働環境の充実に努めます
	6 消費生活	消費者の視点を大切にした取組を進めます
	7 文化・国際交流	歴史と伝統に育まれた地域文化を生かし、文化の振興や国際交流を展開します

本市の人口の推計

「柳井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成27年10月策定）による様々な施策が効果的に反映された場合の将来展望人口を基に、産業の活性化や雇用創出、移住定住者

の増加や人口減少の抑制など、さらなる施策展開を図ることにより、10年後の目標人口を概ね29,500人とします。



	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
社人研による将来推計	34,730人	33,131人	31,366人	29,522人	27,677人
市将来展望	34,730人	32,763人	31,188人	29,592人	28,015人